

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

(世界遺産学習担当)

Tel 0854-82-1600(内線 338)

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

大森小丸亀先生、銀山学習の実践を報告

奈良市で第3回世界遺産学習全国サミット

1月27日(日)、奈良市で第3回世界遺産学習全国サミットが開催されました。世界遺産学習に携わっている教師、研究者、ガイドなど約700名が全国から参加しました。

午前中は8つの分科会に分かれ、それぞれの地域での実践を報告しました。第5分科会には、約60名が出席。大森小学校の丸亀貴彦先生が、



取組みを発表する丸亀先生

「自らの力で地域とともに未来をつくる石見銀山学校～石見銀山遺跡愛護少年団活動をベースに子どもの思いや願いを実現する新しい取組」と題して発表しました。

大森小学校の活動は、3～6年の12名が参加。4月から9月までの長期にわたって行われました。最終目標は、子どもの目線でのお薦めスポットをガイドすること。

面白スポット探し、マップづくり、本物のガイドの指導によるガイド実習、ガイドポイントやコースの設定、説明文や参考資料の作成など、ひとつひとつ積み上げ、最後に保護者や一般の町民をガイドしました。

このプロジェクトには、筑波大学、ガイドの会、行政、地域の人々など、様々な方々の協力がありました。



第5分科会で発表を聞く参加者

質疑では、参加者や指導助言の奈良教育大学中澤静雄先生からこの取組みに高い評価を受けました。中澤先生は、成功の鍵は、アンテナを高く張り、与えられたチャンスを見逃さなかったこと、多くの人たちと日常的に協力関係を結んでいたことだったと評されました。

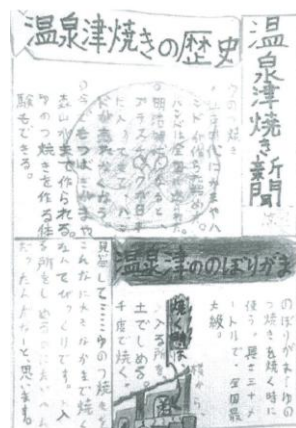
午後は、全体会があり、文化財の修復にたずさわっている専門職人の方々の話を聞きました。とくに紙と木が多用される日本の文化財は、根気強い修理・修復で守り伝えられていることを実感しました。

学習成果を葉書で発信～三瓶周辺3小学校

銀山学習のまとめは、各学校で様々に行われています。3校合同で温泉津の町並みを見学した池田小、北三瓶小、志学小は、少し変わったまとめ学習をしました。

3校では、児童一人ひとりが興味を持ったテーマを選び、往復葉書にミニミニ新聞を作り(右の写真)、地域の方に送りました。

自らが学ぶばかりではなく、地域の人々に伝え、銀山学習の輪を広げる試みで、とても面白い方法だと思います。残念ながら返事はもらえなかったそうです。



石見銀山の学習を通して得たもの

大田市立鳥井小学校 安田 貴子

久しぶりに高学年を担当し、銀山学習をどのようにしていけばよいのか、楽しみが半分、戸惑いが半分でした。子どもたちがこの学習を通してどんなことを得ていくのか、そのためには、どのように学習を進めるべきか考えているうちに、思いもかけず、夏休みに各地区と銀山の関係話を話題にした研修会があり、鳥井には、「金子城があったのではないか。」ということを知りました。「鳥井と銀山」で何か発見があるのではないかと考え、子どもたちと調べてみることにしたのです。

① 子どもの変化～銀山と鳥井のつながりを見つけて

総合的な学習の時間を通して、地域についても調べていくと鳥井にある3つのお寺が、銀山と関わりがあることが分かってきました。子どもたちは、銀山資料館館長さんの話をお聴きするだけでなく、休日や平日の夕方にお寺や館長さんのお宅まで話を聞きに行きました。身近に銀山を感じた子どもたちは自分たちから進んで調べるようになり、地域の方にも聞いてくるようになりました。

② 体験学習の力

石見銀山世界遺産センターや大久保間歩に出かけ、情報でしか知りえなかったことを実際に現地に出かけ、自分の体験を通して学習することによって、より詳しく実感を伴って知る機会を得ました。「銀が採れるまでの大変さが初めて分かった。」と話す子どもたちは、銀への武将の執着とそれを支えた人々に思いを巡らしました。

学習発表会で地域の皆さんに成果を発表し、満足そうな子どもたちは地域として結びつきたいように思います。



学習発表会で学習成果を発表

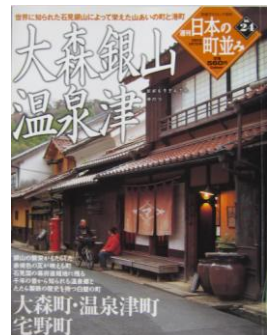
書類が多く、やや事務が煩瑣でしたが、これからも銀山学習が子どもたちにとって郷土の誇りとなり、地域との結びつきにつながっていけばと考えています。

大森銀山・温泉津～週刊日本の町並み 24～石見銀山に関する図書紹介⑩

＜小池徹郎著 学習研究社発行 平成17年（2005）刊＞

日本の町並みの中から30か所の特徴ある町並みを選び、2004年から2005年にかけて順次刊行された。町並みに暮らす人々の暮らしや町並みが育んできた文化や歴史を解説する。

大森と温泉津はそれぞれ昭和62年と平成16年に重要伝統的建造物群に選定された。この冊子では二つの町並みが美しい写真とわかりやすい文章で紹介されている。写真が多いので眺めるだけでも楽しい。たたらで栄えた町として、仁摩町宅野の町並みも取り上げている。



□□□□□□□□□□□□□□□□ □ 銀山関係学習情報 □□□□□□□□□□□□□□□□

2/16（土） 講演会「世界遺産のある地域で学ぶ～文化遺産をとoshした教育で、子どもたちに伝えたいこと」

場所はあすてらす、13時30分開始予定。講師は、奈良教育大学の中澤静男先生。主催は大田市教育委員会。世界遺産教育の先進地奈良市での経験をもとに、世界遺産学習の効果的方法について語ります。